

・ギャラクシー賞下期の応募数は26本で、上期・下期合わせて32本となった。年間30本程度の応募数は、報道活動部門としては高水準と考えている。

◇企画事業委員会 桜井委員長

・報告は特になし。

◇広報委員会 滝野委員長

・委員会の開催はなし。

・贈賞式の延期に伴い、マイベストTV賞グランプリ投票を5月1日スタートとすることにした。

・HPオリジナル記事「座談会・2020年春ドラマを語る」を4月末に掲載予定だったが、春ドラマのスタートが延期しているため、仕切り直しとすることにした。

2. ギャラクシー賞スケジュール

入賞作品や大賞等の発表時期、贈賞式開催の方法、有無について議論を交わし、左記のように決定した。

・入賞作品（各部門入賞作品、テレビ部門個人賞・特別賞・フロンティア賞、ラジオ部門DJパーソナリティ賞、マイベストTV賞グランプリ、志賀信夫賞）↓6月初旬発表。プレスリリース、メール、ホームページ、SNSなどで行う。可能であれば記

者会見を設定する。

・大賞・優秀賞・選奨発表↓7月初旬発表（GALAC8月号に詳報掲載。ほか委員長講師評動画などでの発表を検討）。

・贈賞式開催は未定。

3. その他

①入退会の件

入会 永麻理さん

退会 稲塚秀孝さん、遠藤ふき子さん、松尾羊一さん

②総会開催方法の件

6月21日（日）総会・理事会の開催方法についてはコロナ禍の状況を見て判断する。懇親会は中止とする。

今後の理事会

5月22日（金）、

6月21日（日）総会・理事会

【出席】

音好宏、橋本隆、藤田真文、川喜田尚丹羽美之、水島宏明、稗田政憲、出田幸彦、五井千鶴子、服部千恵子、桜井聖子、滝野俊一、市村元、入江たのし、岩根彰子、奥律哉、茅原良平、鈴木健司、鈴木嘉一、松山珠美、山田健太、中島好登

## 会議記録

〔4月〕

7日 (選奨) ラジオ定例部会

出版編集委員会

8日 (選奨) CM定例部会

理事会

24日 (選奨) テレビ月評会

28日

30日



4月28日理事会オンライン開催の様子

# ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・6月号・付録  
2020年6月6日発行(毎月1回6日発行)  
昭和43年3月8日第三種郵便物許可  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F  
NPO法人放送批評懇談会  
TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510  
ホームページ <https://houkon.jp/>  
Eメール [kondankai@houkon.jp](mailto:kondankai@houkon.jp)  
編集・藤田真文

## 第57回ギャラクシー賞 入賞作品6月初旬発表

### —4月理事会報告—

2020年4月28日、4月理事会をオンライン方式で開催した。

#### 1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 水島委員長

・4月8日に委員会を開催した  
(Zoomを使用したのオンライン形式)。

・ギャラクシー賞の特集が先送りとなったことで緊急に対応することになった7月号は、「戦うメディア業界 新型コロナに負けるな!」志村けんが遺したものの2本立てで特集する。

・7月号表紙は綾瀬はるかさん、ザ・パワースは柳澤秀夫さん。

◇選奨事業委員会

〈テレビ部門〉 出田委員長

・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため月評会をリモートで実施。3月30日〜4月1日の3日間

をかけて12人の委員がメールと掲示板を介して討議を行った。

・月間賞には、ねほりんぱほりん「震災で家族が行方不明の人」(NHK)、NNNDキュメント'20「19人を殺した君と重い障がいのある私の対話」(北日本放送)、「映像研には手を出すな!」(NHK)、ドラマ24「コタキ兄弟と四苦八苦」(テレビ東京)の4本を選んだ。

・ギャラクシー賞下期の応募数は165本となった。新型コロナの影響で応募数がどうなるか心配だったが、昨年度より9本増となった。上期、下期をあわせた年間の応募数は321本で、昨年第56回の302本よりも19本増となった。

なお、フロンティア賞への応募は3本にとどまった。

〈ラジオ部門〉 五井委員長

・4月7日に定例会を開催した。出席者は委員長・副委員長・執筆担当者の3人。他の委員は文書での参加とした。長寿番組が多い「吹奏楽を中心にした番組」をテーマに、「BRABAN」(FM岩手)、「吹奏楽の時間」(朝日放送ラジオ)、「アサプラ」(FM静岡)、「吹奏楽の響き」(NHK-FM)を聴取し議論を交わした。

・ギャラクシー賞下期には生ワイド12本、音楽・エンタテインメント15本、ドラマ6本、報道・ドキュメンタリー10本の計43本。昨年度より7本増となった。

〈CM部門〉 服部委員長

・4月24日にZoomミーティングにて定例会を開催し、37作品のCMを視聴した。大塚製薬 ポカリスエット、KINCHO 虫コナーズ、クラシエフーズ フリスクなどのCMが注目を浴びた。

・ギャラクシー賞下期の応募数は161本(テレビCM94本、ラジオCM67本)で昨年度の1本減となった。上期・下期合わせて323本となった。

〈報道活動部門〉 丹羽委員長